

2050年の大阪の将来像に関するご意見

田中 里沙 様

- 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の考え方から、2050年の大阪の将来像の検討に向け、3つのキーワード【健康、持続可能、国際都市】を設定しました（別添有識者WG資料3，4ページ目を参照してください。）。それぞれの観点を参考に、委員の皆様が現時点で考える2050年の大阪のあるべき将来像があれば、自由に記載してください。

なお、キーワード以外の事項についても、幅広く記載いただいても結構です。

◆2050大阪のあるべき姿に向けて

大阪の持てる資源を最大限に活かして、理想の姿を構想し、実現する時です。

大阪人の暮らしの知恵が、未来をつくり、世界を動かすことを実感できる機会にしたい。

大阪式の

①健康社会

道修町の歴史にみる創薬、市場開発のイノベーションから、最先端の医療技術と、互いの健康を気遣う日常の調和を考える。

②持続可能社会

大阪は、「暮らしの匠」たちの、生きる知恵で形成されてきた都市。

AIの教師ラーニングに、大阪人の知恵を学ばせ、未来につないでいく。

③国際都市

人的資本への投資(資金だけでなく、情報や技術も)に力を入れ、府民を核に、グローバルなスマートシティ(←新たなかたち)を作り上げていく。

観光資源となる街、風景、自然、食、文化の磨き上げで、都市の価値を向上させる。

◆人間中心の「大阪ソサエティ5.0」を、

大阪府が府民、企業、組織、教育研究機関、地域等の、多様性を引き出しながら実現していく機会とし、その過程を府民の方々と共有しながら、持続的な成長を描いていきたいと思えます。

将来像の実現に向けて、克服すべき課題や取組みの方向性がありましたら、記載してください。

-----ご記載いただく上での留意点-----

- 参考資料として添付している「大阪のめざすべき将来像を考えるうえでの視点」や「大阪の現状」、「人口推計」等をご参照のうえ、自由にご意見を記載してください。
- WG 当日に、各委員の説明時間（5～10分）を設けますので、資料の補足事項は、その際にご説明いただけます。
- 今後の取組みの方向性は、行政に限らず、民間などの取組みも含めて幅広く記載いただいても結構です。なお、本ビジョンが、2025年を目標年次としていることから、2025年に向けた取組みの方向性を記載してください。
- 行数が不足する場合は、適宜、新たな行を追加してください。
- ご提出いただいた本様式は、資料として配布するとともに、WG 終了後、HP 上で公表いたします。
- 本様式以外に、第1回WGで提出を予定されている資料があれば、併せてお送りください。